

平成21年度生涯学習関連事業計画

基本的事項

本学における教育及び地域社会の発展に寄与する観点から、本センターが持つ研究開発機能を基盤にして、緊急且つ重要な事業、日常的に行う事業等に分類し、軽重をつけて実施することとし、次の2部門において生涯学習社会の形成に関してのセンターとしての業務を行う。

- ①大学開放推進部門において、公開講座・公開授業及び県民・学生への現代的課題への対応に関する学習機会の提供等の大学開放の推進を行う。
- ②生涯学習支援システム部門においては、県内の生涯学習行政や高等教育機関、各種活動組織等とのネットワーク化による県民の生涯学習を支援するためのシステム化を行う。

1. 大学開放と学習機会の提供

本学が持つ高等教育機能を発揮し、県民に対して直接に様々な学習機会を提供する。

(1) 公開講座

公開講座は、各学部が実施する講座と、本センターが現代的な課題に対応して実施する講座で構成し、開催方法としては、本学が主催する講座と市町村教育委員会と連携で行う連携講座とする。

1) 主催講座

主担当

各学部・センターが持つ専門的・学術的な教育内容及び学部横断的・研究開発的視点から社会的ニーズに即して開設する。 前期： 15 後期： 【内】センターが実施する講座 前期： 5 後期：	岡田
--	----

2) 連携講座（出前講座）

市町村が抱える課題に対応して、各学部・センターが持つ専門的・学術的な教育内容及び研究開発的視点から、センターが市町村と連携して開設する。 年間： 1 前期： 4 後期： 【内】センターが実施する講座 年間： 1 前期： 4 後期：	岡田
--	----

(2) 公開授業

公開授業は、正規の授業を開放して学生と共に専門的な教育内容を体系的に学ぶ場を提供するものであり、各学部及び個々の教員からの申請で実施する。

各学部、センター等が公開する授業 前期： 55 後期：	岡田
---	----

(3) センター事業

生涯学習社会形成の方策として、現代的な課題に関する講座の開設や調査研究を通じた地域貢献と学生への学習支援、及び市町村等との連携による地域が抱える課題に対する学習支援を行う。

1) 学習機会提供事業

【公開講座】 ※（1）公開講座の内センターが実施するもの ＝主催講座＝	
--	--

前期実施分 5講座 ①大学での学問体験セミナー（2講座） ②夏の海体感講座 ③土と水に根ざした農家体験ツアー ④身近な大分の化石収集	後期実施分 ①大学での学問体験セミナー（2講座）	岡田
=連携講座= 年間1講座 前期分4講座 ①「米水津塾」（連携先：佐伯市教育委員会） ○米水津地区の住民を対象として地域の課題を学び地域活動に繋げていく8回講座 ②「地域社会と学校との連携推進講座」 ○地域住民の学校教育活動を支援した子どもの健全育成とともに、大人社会の再構築を目指す地域ぐるみの取り組み方策を支援する講座 （前期：豊後高田市・杵築市・佐伯市・竹田市） （後期：未定）		岡田 中川

2) 生涯学習指導者研修事業

①「協育」アドバイザー養成講座 ○生涯学習行政においても現代的な最大の課題として取り組んでいる「家庭、学校、地域社会の教育の協働」を推進する中核的な人材の養成を行い、学校や地域での子どもの健全育成及び大人社会の再構築を推進する講座（2日間）	中川
--	----

3) 大学教育と生涯学習の接続・連携

【生涯学習・社会教育に関する授業の実施】 ①生涯学習論入門：全学生を対象にした教養科目 ②社会教育から見た「教育の協働」：全学生を対象にした教養科目 ③成人教育方法入門：全学生を対象にした教養科目 【学習ボランティア活動】 ①学習ボランティアの登録 ②学習ボランティア研修会 ③学習ボランティア企画事業の実施（後期） ④社会人学生・学生の学習ボランティア活動支援（年間） ○各種交流会、研修会、社会教育事業、イベント等の紹介とボランティア活動の推進を行う。 ・大学開放イベント ・県及び市町村事業 ・各種団体事業等	岡田 中川 中川 岡田
---	----------------------

(4) 学内のネットワーク化

①部門会議の充実 ○部門会議において、生涯学習に関する業務及び生涯学習の振興に関する協議・研究を行う。	岡田・中川
②生涯学習支援教員のネットワーク化 ○公開講座や調査研究の充実のために趣旨に賛同する教員のネットワーク化を進める	岡田・中川

2. 地域生涯学習支援システムの整備

本センターの役割として、地域の生涯学習を支援するシステムづくりや、その中で重要な役割を果たす社会教育関係職員、指導者・ボランティアなどの力量の向上に取り組むことで、間接的に地域住民の学習を支援することが重要であることから、そうした連携のシステムをとおしての地域貢

献を行うために次の取り組みを行う。

(1) 生涯学習支援ネットワーク化の取り組み

1) 県及び市町村教育委員会とのネットワークづくり

①県教育委員会との定期的な情報交換会を行い、研究と施策の融合を図るよう連携を強化する。	中川
②市町村教育委員会との協議の場の設定や県が主催する会議等への参加、各種情報の提供等とおして、効果的なネットワークを構築する。	中川

2) 「大分県社会教育主事有資格者ネット」の組織化

①県内の社会教育主事の資格を有する行政職員や教職員のネットワークを充実させるとともに、ネットワークを活用した生涯学習・社会教育に関する情報交換や研修会の開催等を行う。	中川
---	----

3) 県内高等教育機関のネットワーク化

①現在休止中である「大分地域大学等生涯学習協議会」の再開を検討する。	中川・岡田
------------------------------------	-------

(2) 市町村・団体等との共同・連携事業

市町村等が地域の課題に対応して実施する生涯学習・社会教育事業に対して、本センターが持つ機能を生かして、事業の受託やノウハウの提供、人的な支援等に関する共同・連携を行う。

1) 事業の共同・連携

①地域発「活力・発展・安心」デザイン実践交流会 ○東国東デザイン会議が主管する実践交流会の共催機関として企画、運営に参画するとともに、学生の発表・学習ボランティアの場とする。	中川
②NPO法人大分水フォーラムとの連携事業 ○NPO法人大分水フォーラムと連携して、水を中心とした環境学習の共同事業を開発・実施する。	岡田
③津久見市公民館講座への支援 ○高齢者や団塊世代への学習機会と地域活動への参加促進を目指す公民館講座への講師紹介等の支援を行う。	岡田

2) 生涯学習事業共同開発

※予定は無	
-------	--

(3) 生涯学習推進と社会的活動の取り組み

県及び市町村、社会教育関係団体、NPO等と連携して、生涯学習に関する各種事業への参画、支援を行い生涯学習推進のための地域貢献を行う。

1) 県教育委員会生涯学習行政との連携

県教育委員会生涯学習行政とは、定期的な協議を行い総合的な連携・協力を図る。

【県教育委員会事業】	
①生涯学習・社会教育施策への支援	中川・岡田
②生涯学習・社会教育指導者研修事業への支援	中川・岡田
③調査研究事業への参画	中川
○「学校支援地域本部事業」に係る意識調査の共同	
【県立社会教育総合センター等事業】	
①生涯学習・社会教育指導者研修事業への参画	中川・岡田

